



大阪退職者連合
結成30周年記念誌

1992 >>>> 2023





大阪退職者連合 結成 30 周年記念祝賀会

日時：2023年5月23日(火) 15：00 から

場所：シティプラザ大阪 旬(SYUN)

15：00 開 会

大阪退職者連合 事務局長

松 本 昌 三

— 主催者挨拶

大阪退職者連合 会長

徳 永 秀 昭

— 来賓あいさつ(敬称略)

日本退職者連合 会長

人 見 一 夫

日本労働組合総連合会大阪府連合会 会長

田 中 宏 和

こくみん共済 coop 大阪推進本部 本部長

川 崎 正 治

— 来賓紹介(敬称略)

日本退職者連合 会長

人 見 一 夫

滋賀退職者連合 会長

増 田 勝 治

奈良退職者連合 会長

土 記 好 廣

京都退職者連合 会長

木 戸 美 一

和歌山退職者連合 会長

藤 田 利 章

兵庫退職者連合 会長

松 浦 典 雄

日本労働組合総連合会大阪府連合会 会長

田 中 宏 和

日本労働組合総連合会大阪府連合会 事務局長

井 尻 雅 之

大阪労働者福祉協議会 専務理事

多 賀 雅 彦

こくみん共済 coop 大阪推進本部 本部長

川 崎 正 治

近畿労働金庫 中央支店 支店長

細 川 雄 行

— 乾 杯

大阪退職者連合 副会長

横川万寿美

16：30 閉 会(予定)

大阪退職者連合 事務局長

松 本 昌 三



会長の挨拶	p.1
-------------	-----

祝辞	p.2
----------	-----

日本退職者連合会長 人見一夫／連合大阪会長 田中宏和／京都退職者連合会長／奈良退職者連合会長／滋賀退職者連合会長／和歌山退職者連合会長／兵庫退職者連合会長

各構成組織の組織紹介（25 組織）	p.8
-------------------------	-----

IKI IKI ライフクラブ大阪府支部／全日本自治体退職者会大阪府本部／JAM大阪高齢・退職者の会／電機連合大阪地協 退職者連合／ダイハツ皐月会／NTT労組退職者の会大阪支部協議会／私鉄関西地連高齢者・退職者の会連絡協議会／大阪府退職教職員連絡協議会／大阪府退職女性教職員の会／JR連合大阪府協議会退職者連絡会／JP労組大阪連絡協議会退職者の会／基幹労連大阪府本部退職者の会／運輸労連大阪府連合会退職者の会／交通労連関西OB友愛会／印刷労連関西地本退職者の会／日本たばこ大阪退職者の会／大阪市水道局退職者会／近畿労働金庫退職者会大阪支部／大阪地域合同労組OB OG 会／連合大阪スタッフユニオンOB OG 会／大阪退職者連合北摂地区協議会／大阪退職者連合豊能退職者会／大阪退職連合吹摂退職者会／大阪退職者連合・東大阪退職者会／大阪市地域協議会役員OB 会

大阪退職者連合の構成組織一覧	p.21
----------------------	------

歴代役員一覧	p.22
--------------	------

顧問からのあいさつ	p.34
-----------------	------

歴代専従者のひとりごと	p.37
-------------------	------

編集後記	p.38
------------	------

徳永秀昭会長のあいさつ

大阪退職者連合 会長 徳永 秀昭



大阪退職者連合が結成30周年を迎えました。大阪高齢・退職者の会として1992年2月に結成され、2015年に名称変更を行ない現在に至っています。

高齢者や退職者が健康で生きがいを持てる健全で安らかな生活を目指すと共に、平和を求め戦争への道を歩ませる事なく、充実した福祉社会の実現のため社会保障制度改革の課題を重点に取り組んできたことやハイキングを近畿の恒例行事に拡大してきた事など、その活動は高い評価を得ています。これはひとえに会員の皆様のご協力、歴代役員のご努力とともに連合大阪の物心両面にわたるご支援・ご協力のたまものと深く感謝し、厚くお礼申し上げます。

ロシアのウクライナへの軍事侵攻によって、第2次世界大戦後の国際秩序が非常に危険な状況に陥っています。世界各国が協力をして、早期停戦が図られることを願うばかりです。一方で、国際秩序の危機が、日本において憲法改悪や軍備の増強、核保有などの議論が公然と行なわれ、防衛費の大幅な増額が行なわれる事態になっています。このような憂慮する状況に警鐘を鳴らし、日本が再び危険な道を歩まない為の取り組みを強めなくてはなりません。

また、経済状況にも大きな影響を与え世界経済の混乱が生じ、日本においても急激な物価の高騰が起こっています。賃金引き上げや格差是正を置き去りにし、年金・医療・介護など社会保障制度

の改悪などにより国民生活はますます厳しさを増しています。

さらに、安倍政権がもたらした政治の劣化はより進み、与野党ともに最悪の状況に陥っていると言わざるを得ません。大阪においても維新政治が同様の事態を生んでいます。

政治の劣化は格差と貧困を拡大し、差別と分断や対立をあおる事態を数多く生じさせています。今一度政治と向き合い、人権を尊重し民主的合意に基づく政治を取り戻さなければなりません。今後とも、国政選挙はもとより地方議会選挙においても連合と「現退一致」で取り組み強化を行なう必要があります。

大阪退職者連合は日本退職者連合に結集し、超少子高齢社会の中で私たちの生活に直結する「年金・医療・介護」を中心とする安心・信頼の社会保障制度の確立や高齢者雇用の課題、ジェンダー平等の取り組みなどの取り組みを強化します。同時に、会員の拡大と組織の強化を図る取り組みについての活動も充実します。

この間、コロナ禍で大阪退職者連合の活動も思うようには展開できていませんが、感染症を克服し、退職者の知恵や経験を活かした取り組みを展開してまいりたいと考えています。

結成30周年を契機として、大阪退職者連合がますます繁栄し、会員の皆様がより一層ご健勝で活躍されますことをご祈念申し上げ、挨拶いたします。

大阪退職者連合 結成30周年おめでとうございます

日本退職者連合 会長 人見 一夫



大阪退職者連合結成30周年おめでとうございます。

30年を振り返り大阪退職者連合の発展のためご尽力頂いた歴代役員の皆様に心より感謝申し上げます。また、コロナ禍で対面での会合も困難な中、徳永会長をはじめ全役員の皆さんの創意工夫をした取り組みに敬意を表します。大阪退職者連合は構成組織の交流と学習を積極的に進め全国の模範となるような行動を進めています。また、大阪退職者連合は近畿ブロックの指導的役割を担って頂いていることに感謝しております。

さて、新型コロナウィルスパンデミックは未だ終息していません。100年前のスペイン風邪も感染終息まで3～4年かかっています。引き続き感染防止対策を進めて行きましょう。

ロシアは昨年2月24日、ウクライナへ軍事侵攻しました。現在も戦争が継続しています。この間、多くの生命が奪われ、学校、病院、住宅などのインフラが破壊されています。一日も早い停戦、平和の回復が求められていますが、停戦の見通しが立っていないのが現状です。ウクライナのジャポリージャ原発への攻撃が報道されています。原発が破壊されるような事態が発生すればヨーロッパ中に放射能被害が広がります。福島原発事故の経験からも甚大な被害が起きることは明らかです。また、プーチン大統領は核兵器を隣国のベラルーシに配備し戦術核の使用も示唆しています。核兵器の使用は絶対認めることはできません。

核兵器と人類は共存できません。一日も早く戦争を終わらせるために「戦争はNO」の大きな声をあげましょう。

岸田政権は戦後続けてきた専守防衛の考えを大転換し、増税により防衛費をGDP費2%への引上げを進めています。日本の平和と民主主義の危機です。このような暴挙は認める訳には行きません。

日本は少子化、高齢化、人口減少時代に入っています。2022年の出生者数は77万人台と推計されています。65才以上の高齢者は3627万人以上です。2040年頃には、高齢化率はピークを迎えます。社会保障制度はこの国の社会インフラです。しかし、少子化による労働者人口の減少、国の借金財政を考えると社会保障制度の持続は不可能です。

日本退職者連合は地域で安心して豊かに暮らすために制度政策要求の実現を政府に求めています。年金、医療、介護、子育て支援の課題は退職者連合の最重要課題です。中央、地方で政策制度要求実現の取り組みを進めていきましょう。

日本退職者連合は100万退職者連合をめざして組織の強化拡大に取り組みます。そのためにもジェンダー平等推進が不可欠です。退職者連合の運動に女性参画を進め組織の強化拡大を一層進めます。

大阪退職者連合の結成30周年を機に貴組織が指導的役割を発揮されると共に会員の皆様のご健勝ご活躍を祈念してお祝いの挨拶とします。

大阪退職者連合の 結成30周年おめでとうございます

連合大阪 会長 **田中 宏和**



大阪退職者連合の結成30周年、誠におめでとうございます。

大阪退職者連合は、連合大阪結成から3年後の1992年3月31日、「平和で豊かな高齢期を実現するための諸活動を推進する」ことを目的に結成されました。結成以降、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、シンポジウムの開催や上京行動など、全国の高齢・退職者をけん引する活動に取り組み、連合大阪との連携の下、「現退一致・現退一貫」の活動を展開してこられました。多くの困難を乗り越え結成に力を尽くされ、今日にいたるまでの運動を創り、支えていただいた諸先輩方に衷心から感謝申し上げます。

結成から30年を経た今、私たちを取り巻く社会は、激動の最中にあります。「失われた30年」を経て、不安定な雇用や格差が拡大し、少子高齢化・人口減少は歯止めがかからず、地域社会や家族の支え合いの機能にも影響を及ぼしています。加えて、東日本大震災など大規模な自然災害が、人々の暮らしを大きく傷つけ、今なおその爪痕は深く残されています。

こうした中、2020年に発生した新型コロナウイルス感染症は、人々の命と暮らしを脅かし、社会が抱えるゆがみや矛盾を炙り出しました。コロナ禍が、歴史の転換点となる中、私たち自身が、自律的に道を選びとることで、「with/after コロナ」の時代を切り開いていかなければなりません。

また、2022年2月に勃発したロシアによるウクライナへの侵攻は、多くの犠牲者を出しながら、

1年を経過した今も続いています。連合運動の大切な柱の一つである平和運動を通じて、平和の大切さを次の世代にも引き継ぎ、世界の恒久平和に向けて、取り組みを強化・推進していかなければなりません。

一方、政治の世界では、2012年の民主党政権崩壊以来、異論に耳を傾けずに突き進む政治が、民主主義の土台をも破壊し、深刻な政治不信を招いています。大阪においても、大阪・関西万博など、将来に大きな影響を及ぼす大規模な国際イベントが予定されており、多様な声に真摯に耳を傾ける政治が強く求められています。次の世代に続く持続可能な社会、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない包摂的な社会を実現するためにも、私たちが先頭に立ち、国民に信頼される選択肢を示さなければなりません。

労働運動の出発点は、友情と絆です。また、私たち労働組合の根源的な使命は、「一人・ひとりの働く者とその家族」の命と暮らしを守ることです。私たち連合大阪は、結成時の合言葉「顔合わせ、心合わせ、そして力合わせ」を改めて心に刻み、一丸となって未来に向けた運動に挑戦してまいります。

大阪退職者連合の皆さまには、連合運動の発展に向けて、引き続き、「現退一致・現退一貫」の取り組みの展開と、大所高所からのご指導を賜りますようお願い申し上げます、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

ともにがんばりましょう。



近畿ブロックの先駆的役割に期待！

京都退職者連合 会長 木戸 美一

大阪退職者連合（「大阪退連」）の結成30周年をお慶び申し上げます。

常日頃から近畿ブロックの様々な取り組みにおいて、事務局機能を担っていただいています「大阪退連」の皆様は心から敬意と感謝を申し上げます。

今や、全国的にも評判となっています「近畿ブロックのハイキング大会」（千数百人規模）は、近畿に集う仲間・家族の親睦交流の一大イベントとして定着しています。今後とも、この近畿ブロックのシンボリックな取り組みを継続・発展させていくため、京都退連としても引き続き、「大阪退連」の皆様と連携・協力をしていきたいと思っています。

もう一つ、日本退職者連合（「退連」）が2018年度の運動方針から導入した「退連幹事会機能の強化」に関して、一言申し上げます。つまり、従来の中央と地方の連携強化の取り組みに加えて、地方ブロック代表（全国9ブロック）の「退連幹事会」への参加により、地方からの意見反映がタイムリーに行われるという方針は、組織強化・組織の活性化という観点からも大歓迎であります。近畿ブロック代表（代表幹事）は、この機能を十分に活かしきり、全国9ブロックの先駆的な役割を果たしていただきたいと思っています。



お祝いのことば

奈良退職者連合 会長 土記 好廣

大阪退職者連合結成30周年を心からお祝い申し上げます。さて、貴組織におかれましては、退職者連合近畿ブロック協議会の中核として活動していただいておりますこと、改めて敬意を表し、御礼申し上げます。

私たちの活動は一にも二にも社会保障を中心とする、生活制度要求の取り組みを進めていくことです。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻による原油価格高をはじめ異常な物価高により、特に年金生活者にとっては厳しい生活が続いております。今こそ全国の仲間と力を合わせ、闘いを進めていかな

てはなりません。

二つ目は、ハイキング等、交流の場を作ることも大切です。「近畿はひとつ」今年のハイキングは和歌山退職者連合にお世話をおかけし高野山へのハイキングを予定しております。何か楽しいこと、仲間との出会い、このことも組織拡大の取り組みの一環だと思います。

結成30周年を迎えた退職者連合は、次の世代に継承すべき社会のあるべき形を掲げて大阪退職者連合を先頭に、近畿二府四県、民主主義、立憲主義、平和主義を柱として活動していきましょう。



大阪退職者連合 結成30周年おめでとうございます

滋賀退職者連合 会長 増田 勝治

大阪退職者連合結成30周年を心よりお祝い申し上げます。日頃は近畿の退職者連合のリーダーとして各方面にご指導頂いておりますことに感謝と御礼を申し上げます。

私達も過日30周年を迎え各会代表の方々のご参加を頂き、有意義な式典・祝賀会を挙行することができました。皆さまのご支援に重ねて御礼申し上げます。

退職者連合は高齢者が安心して暮らせる社会に向けて活動を展開しておりますが、目標達成には政治

との拘りが最重要であります。私達が現役の時達成した「政権交代」を今一度現職の皆さんと協力し成しとげ、同時に私達の目標も達成したいと願っています。

近畿を取りまく環境は特殊なようですが私達近畿の連合に集う力を結集すれば打破できると確信しております。大阪退連30周年をスタートとして心と力を結集し、歩みを進めることを誓い合いメッセージとさせていただきます。



お祝いのことば

和歌山退職者連合 会長 藤田 利章

大阪退職者連合結成30周年を迎えられ、心からお祝い申し上げますとともに1992年3月31日の結成総会から今日に至るまでの活動にかかわられた先代役員の皆様のご苦勞に敬意を表します。

「新しい高度な福祉社会を建設し、平和で豊かな高齢期を実現するための諸活動を推進すること」を結成目的に掲げ、構成組織の融和と団結に力を注ぎ、諸活動を展開されてこられたことと思います。

さて、日本は少子高齢化が一層進行し、社会構造に大きな変化を与えつつあります。そのため年金や介護医療等の社会保障制度の改革が求められていま

す。高齢者がこれからも安心していきいきとした人生を送ることのできる社会を目指し取り組まなければなりません。

一方、貴会は、退職者連合近畿ブロック連合会のリーダーとして「近畿はひとつ」を合い言葉にハイキングをはじめとした2府4県の退職者組織の友好や連帯を強める行事や活動にも力を注いでこられました。これからも大いに期待したいと思います。

大阪退職者連合のさらなる発展と会員皆様のご健勝をご祈念しお祝いのメッセージと致します。



大阪退職者連合結成30周年によせて

兵庫退職者連合 会長 松浦 典雄

大阪退職者連合結成30周年おめでとうございます。

日頃は徳永会長を始めとして大阪退連の皆様には、退連近畿ブロックの中核として、ご尽力頂くと共に、何かとご指導ご鞭撻を賜りまして誠に有難うございます。

1991年11月、日本退職者連合の結成を皮切りに、各地で退職者連合が結成され、私達兵庫退職者連合も1993年4月に産声を上げました。

爾来30年、時代は「平成」から「令和」と変わりましたが、私達高齢者を取り巻く環境は、厳しさこそ増せど「ゆとり」「安らぎ」を与えてはくれません。

新型コロナウイルスは瞬く間に蔓延し、日常生活

を一変させ、国会は、「安全保障三法案」「異次元の少子化対策」を始め重要法案を、議会での十分な論議も皆無で、数の横暴による手続きの場と化し、民主主義の根幹を揺るがす事態と思量します。

ことほど左様に、私達の生活環境は厳しいものがありますが、皆さんとの絆を大切にしながら、退職者連合に集う仲間とともに交流・親睦を深め、余生を大切に楽しもうでは有りませんか。

末筆となりますが、今後も貴退連からのご指導・ご鞭撻をお願いすると共に、貴退連の益々のご発展・ご繁栄、会員各位のご健勝、ご多幸を心から祈念して連帯のご挨拶とさせていただきます。

構成組織紹介





01 IKI・IKIライフクラブ大阪府支部

UAゼンセンIKI・IKI（活き生き）ライフクラブ大阪府支部（代表：北野昌作＝フクスケ労組OB）は、2020年にOB・OG組織である「友の会」から移行し、幅広い活動を現役と退職者が協力して行う組織となりました。会員の「心豊かで幸せなライフスタイルづくり」を支援するために、見舞金制度や福利厚生サービスなどのサービス事業を行うとともに、生涯にわたるネットワーク構築のため、バスツアーなどを企画し、和気あいあいと親睦をはかっています。近畿ブロックの退職者連合が主催する「秋のハイキング」も楽しみに参加しています。準備等大変だとは思いますが、引き続きよろしくお願いします。



02 全日本自治体退職者会大阪府本部(自治退大阪)



自治退大阪は、1986年3月31日に結成され、今年で38年目を迎えました。構成人員は22単会（内1単会休止中）、22,354人の組織です。毎年1回の総会、毎月1回程度の（年10回）役員会（各単会1～2名の役員選出）を開催し、各種行動・行事に参加しています。

主な行事は、1月「新春の集い」、4月「自治退近畿地域学習会（宿泊）」、6月「大阪高齢者集会（大阪退連）」、9月「自治退近畿・宿泊役員会」「全国高齢者集会」、10月「近畿退連ハイキング」などです。写真は、今年1月の「新春の集い」です。

03

JAM大阪シニアクラブ



JAM大阪シニアクラブは2001年8月25日に大金労OB同志会と金属機械大阪OB会が組織統合し96名の会員により結成された。現在の会員数は185名である。

2ヶ月毎の幹事会を中心に、総会、新年の集い、工場見学会、その他交流会等、親睦と交流

を中心とした活動を行っている。また、年金・医療・介護保険制度等、社会保障の改悪に反対する取り組みを連合大阪、大阪退連等と連携して行っている。写真は、第22回年次総会で「団結ガンバロー」を行う清水代表幹事。

04

電機連合大阪地協退職者連合



電機連合大阪地協退職者連合は、電機連合大阪地協（重電・家電・通信・IT関連の製造販売する会社の労組員で構成。地区は大阪府域、

和歌山県）の役員OBを母体として構成しています。215名です。（男207・女8名）事務所は電機連合大阪地協にあります。機関会議は、総会はなく、幹事会のみです。幹事から組織に伝達してもらう形をとっています。幹事会は年に数回、幹事会と幹事会の間は、メールでやりとりしています。

幹事は、大企業、中小企業から、それぞれ代表を出して貰っています。具体的には、パナソニック連合・旧三洋労組・シャープ労組、中小労組から田中電工労組・事務局から選出しています。

活動は、大阪退連の活動の参加要請にできるだけ応えるべく行っています。独自の活動はありません。写真は、大阪高齢者集会で提案する会長の信田昭也です。

05 ダイハツ臯月会



ダイハツを卒業したOB・OGで構成されている「ダイハツ臯月会」は、本年で35周年を迎えました。関西、東京の16支部のほか全国に広がってきています。会員数は4,500人で、平均年齢は75.1歳です。会長は東部（こちべ）房男（写真）が務め、会員が健康で明るい生活を送り、諸活動を通じて相互の連携親睦を図り、かつ地域社会との共生・融和を主な目的とし

ています。定年退職時期に合わせて会報紙を3カ月に1回発行し、趣味の展示会、カラオケやゴルフなどのイベントのほか随時年金などの身近な研修会を開催しています。また、各支部でもバス旅行、散策、公園清掃などのボランティア活動など地域の特徴を生かし、多くの会員が参加できる企画は、会員の皆さんとご家族に好評を得ています。

06 NTT労組退職者の会



NTT労組退職者の会の活動の始まりは、現役組織に準じた組織である職場（勤務）組織から退職者が住んでいる「居住地域」毎での加入とし、都道府県単位の見直しを行い、近畿エリアにおいても順次結成総会を進め、大阪支部協も、1998年11月に組織再編を経て4,500名を超える全国3番目の大組織として発足しました。大阪支部協も今年で結成25周年を迎えます。近畿における「中核組織」とし

て近畿各支部協との連携を密にし、①会員相互の親睦、②生涯いきいき活動の実践を基本に「ゆとり・豊かさ・社会的公正」を追求し「現・退一致」の運動を着実に進め、今日に至っています。昨年11月には、将来の組織運営を想定し、「4ブロック体制」から会員により近い組織として、「4地区協議会体制」に順調に移行を完了し、新たな活動を推進しています。会員の皆さんが、集い親しみがある行事の創造に向けて、今後とも各種取り組みを実施して行きます。



07

私鉄関西地連高齢者・退職者の会連絡協議会

結成 30 周年、誠におめでとうございます。私鉄関西地連高退協は関西 2 府 4 県の私鉄総連加盟単組高退会組織の連絡協議会として活動をしています。活動の中心は幹事会を中心に現役組織との連携をはかりつつ、各組織間の情報交換につとめ、高齢者が元気に暮らせる社会づくりに取り組んでいます。また、大退連の活動では特に、毎年取り組まれている自治体要請の密度の濃さに驚いております。今後も退職者組織として我々退職者の想いと声をまとめ、更なる活動の前進に私鉄関西高退協としても微力ながら協力をしてまいりたいと考えております。



08

大阪府退職教職員連絡協議会



遊びも学びも政治も、女も男も

大阪府退職教職員連絡協議会は、大阪教組結成の一年後の 1990 年 11 月 22 日結成されました。現在府内 23 の市や町の単会組織で構成される緩やかな連絡組織です。とはいえ、かつて教育に携わったものの集まりだけに、平和を願い、誰も取りこぼさない教育・社会を求める気持ちは根強いものです。1 年前ようやく役

員の 30% 以上に女性が参画する世間並みの目標に挑戦し実現したばかりです。29 回となった「いきいき作品展」(毎日新聞掲載)、80 名を超えるゴルフ同好会、憲法 9 条を誇りにする会の活動など親睦も熱い思いも大切に、クリティカルマスの成果を発揮し大阪退連の仲間とともに、退職者も安心して暮らせる社会政策実現に努める 2000 余名です。

09 大阪府退職女性教職員の会



1968年11月に結成された大阪府退職女性教職員の会（大阪府退女教、当時は退婦教）は、「教え子を再び戦場に送るな！」をスローガンに「ジェンダー平等社会の実現を」「自分たちの暮らしは自らの運動で守ろう」と全国退女教の仲間とともに活動してきました。

学習会、講演会、ハイキング、サークル活動や府退教等との「いきいき作品展」等を通じて

会員相互の親睦をはかっています。また、「福島おうえん基金」を募り「保養キャンプ」を行っています。「一票のために長生きするぞ」をモットーに、次に続く若い人たちにより良き社会をバトンパスできるよう、とりくんでいます。写真は、2021年11月の「学びのつどい&親睦交流会」の1コマです。

10 JR連合大阪府協議会退職者連絡会

JR西労組退職者協議会は1996年に結成された歴史的にも若い組織で、その後JR連合退職者連絡会が結成され参加しました。協議会は、各地方本部単位での活動を行い、総会・レクレーションを取り組んでいますが、大阪退連への加入は大阪地本のみであり、大阪に地本を置く総支部・西日本バス、加えてJR連合退職者連絡会の一員である、「東海ユニオン」「貨物鉄産労」に呼びかけJR連合大阪府協議会退職者連絡会として組織整備し、3年前に大阪退職者連合に再登録をお願いしてきました。



各単位の退職者の活動を取り組むと共に、大阪退連の活動にもお互いの連携を図りながら積極的に参加しています。組織拡大においても、昨年千名組織を達成することができました。

11

JP労組 大阪連連絡協議会退職者の会

JP労組規約で「退職後の会員組織として中央、地方、連絡協議会、支部にJP労組退職者の会を設置し退職後の諸活動を行う」とあり、また運営規則により、JP労組と連携を行い、議決権はありませんが、機関ごとに総会を行い、合議制で行事を決めています。

定年制が延長され会員拡大に苦勞をしていますが、「現職と退職者の会」の一体の取り組みで、会員拡大を進めている次第です。昨年秋には大阪城公園周辺ハイキング & 共済学習会を行いその後、懇親会を実施しました。



12

基幹労連大阪府本部退職者の会



基幹労連大阪府本部退職者の会（略称：基幹大阪シニアクラブ）は、組合役員経験者を中心に会員数101名（2023年3月末時点）で活動をしています。

具体的には、年1回4月に総会を開催するとともに、12名で構成された幹事会を年5回開催しております。また、総会開催時には、独自行事として、健康体操や落語会、介護・認知症予防などの講演会を会員の学びの場として実施しています。

大阪退職者連合には多くの会員が参加できる行事や高齢者が安心・安定して生活できるよう政策・制度要請はもとより、その情報の発信の強化を期待しています。



13

運輸労連大阪府連合会退職者の会



「運輸労連大阪府連合会退職者の会」は構成単組の拡大に取り組んでいるが難しい状況にあり、現状では全日通労働組合大阪支部OB会による単会での構成となっています。

退職者の会」の主な取り組み内容としては、運輸政策・制度要求の実現に向けた活動などに

関する現退一致の取り組みや、構成産別の一員としての大阪退職者連合活動への参画です。

これから大阪退職者連合には、高齢化社会が進んでいく中において、高齢者に寄り添う社会づくりに向けた、今後益々の取り組みに期待します。

14

交通労連関西OB友愛会



交通労連OB友愛会は、交通労連関西地方総支部結成40周年の節目の年である1987年12月に発足しました。交通労連関西地方総支部に所属する組織の組合員OBの方を対象者と

して、この会の主旨に賛同する同士で構成しています。2023年3月末現在、会員は29名です。

交通労連関西OB友愛活動会の取り組みの目的は、会員相互の親睦・連帯強化を目指し、充実した高齢化社会の実現を期する事を目的とし、その目的を達成するための事業を行います。大阪退職者

連合には、社会保障制度に向けた取り組み（政策・制度等）について、現役・退職者の連携強化により課題の解決に向けた活動を継続していただくことを期待しております。

15

印刷労連関西地本退職者の会

印刷労連の歴史は1989年の連合結成と同じくします。労働戦線統一の波の中で、当時の総評、同盟、中立にそれぞれ所属していた労働組合が大同団結して「印刷情報メディア産業労働組合連合会」としてスタートしました。情報メディアなどという洒落た名前が似合わない。

むさ苦しいオッサン、オバサンが教育費タダ、ワークライフバランス、在宅勤務という世界で最も進んだ夢のような日本版社会主義を作り上げたのは我々OBだ、と缶ビール片手に氣勢を上げています。



●2008年6月 印刷労連関西地本退職者の会結成総会時の写真

16

日本たばこ大阪退職者の会

大阪退職者連合結成30周年おめでとうございます。私共、日本たばこ大阪退職者の会は、1981年（昭和56年）に発足し、結成から42年を迎えます。この間、日本専売公社から日本たばこ産業株式会社へと変遷がありました。会員は、関西域内（近畿二府四県）事業所の事務系職場に在籍したOB・OGで構成し、現在の会員数は約190名です。

当会に於いても会員数は年々減少傾向にあり、また、会員の平均年齢も74.9歳と高齢化が進んでいます。当会の運営は、会員相互の親睦と健康維持・増進に力を入れた活動に積極的に取り組んでいます。具体的には、2か月毎に発行する機関誌に会員の近況掲載や、教養を高めるための文化行事・懇親会の開催。また、退職者連合主催のハイキングにも積極的に参加し



ています。更には、医療法人財団康生会の医学博士を招いての健康に関する講演会・医療相談会を実施し、会員から好評を得ています。

年を重ねても明るく健やかに、生き生きとした人生を送って行けるよう、会員に喜ばれる運営をこれからも続けて参ります。

17

大阪市水道局退職者会



水交会は、1960年5月15日に設立、正会員は、大阪市水道局の退職者（元職員を含む）および（株）大阪水道総合サービスの退職者です。なお、正会員が死亡されたとき、配偶者が希望により特別会員となります。2023年4月1日現在で、正会員911人、特別会員172人。役員は、道野政徳会長ほか、89人で構成しています。

活動の目的は、第1に退職後の生活の安定と向上を図ること、第2に会員相互の親睦を図ること、おもな活動は、定期総会を大阪市水道局の通水記念日である11月13日に開催しています。「歩こう会、旅行会、ゴルフ、麻雀、グラウンドゴルフ、囲碁、将棋、神社仏閣巡り」の8つの同好会の活動を通じて、会員の親睦と交流を図っています。



機関誌「水交会報」（カラー紙面）を年4回発行し、会員の近況報告などを掲載しています。組織の会議は、4役会議、常任幹事会、幹事会を定期的に開催しています。また、こくみん共済や保険の取り扱い及び物資の斡旋など福利厚生事業も実施しています。

18

近畿労働金庫退職者会大阪支部



近畿労働金庫退職者会大阪支部は、近畿労働金庫（近畿地区の滋賀・奈良・京都・関西・大阪・和歌山・兵庫の7労働金庫が統合）の誕生後の2005年5月に各金庫の退職者組織が統一し近畿労働金庫退職者会が設立されました。その時

に「大阪労働金庫職員退職者会」（1990年2月結成）が組織変更して近畿労働金庫退職者会大阪支部となりました。

会は、「一日でも労金の釜のめしを食った者は皆んな同士だから、途中退職者も定年退職者も老若男女と問わず、お互いの無事と健康を確かめ合い、親睦をはかる場が我々の退職者会である」（初

代会長・高浦 昭）をモットーに、会員相互の親睦および扶助、会員の福祉の向上、労働金庫事業の発展に寄与することを目的にしています。現在、41歳から93歳までの211名が結集しています。

19

大阪地域合同労働組合OB・OG会



2023年1月20日（金）に、大阪地域合同労働組合の結成50周年記念式典が開催され、懐かしいメンバーが数多く集まりました。大阪地域合同労働組合は様々な業種の中小企業の労働者が、解雇や劣悪な労働条件やパワハラ等に対して、個人、会社内の有志が闘う受け皿になってきました。

したがって、OB・OG会のメンバーは、必然的に個々人単位になってしまい、引退後の組織的な活動は難しく、アメンバーのようなものです。しかし、私たちはもしも…の時のためのセーフティネットでありたいと思っています。大阪退職者連合が、弱小労働者の支えとなって下さることを期待します。

20

連合大阪スタッフユニオンOB・OG会



連合大阪スタッフユニオンOB・OG会は、連合大阪事務局で労働運動に携わる役職員が組織する「連合大阪スタッフユニオン」を退任したメンバー14人で組織しています。メンバーは、定年退職などで連合大阪の業務から離れた者、連合大阪の役員（副事務局長）就任によってOB・OG会の所属になった者などです。

主な活動は、毎年12月に行う総会で、連合大阪の運動課題について情報共有するとともに、現役スタッフユニオンメンバーとの交流からOB・OG会としての支援を検討・実践していくことです。連合大阪が推進する運動にもメンバーそれぞれの立場から支援しています。

21

北摂退職者連合

当会は連合大阪高齢・退職者の会の最初の地域組織として、連合北摂地協役員の強い働きかけと協力を受け1994年1月連合高槻連絡会OB会の名称で発足しました。その後、高齢・退職者の会の名称変更に合わせて北摂退職者連合に改称しました。主な活動は、研修会や高槻市への要請行動・懇談会、ニュースの発行などです。近年は、新規加入が途絶え、役員・会員の高齢化や逝去により活動も厳しくなっています。会の役員は、副会長に堀田和喜、松雪芳信、古澤敏雄の3名、事務局長に石橋常夫、事務局次長に大沼孝之、飯塚健二で運営しています。会長は、2022年10月に逝去のため不在です。写真は、2023年4月13日に濱田市長激励集会での堀田副会長の挨拶です。



22

連合豊能退職者会

連合豊能退職者会の発展と活動・取り組み状況について

1. 発足

連合豊能退職者会は2023年で第28年を迎えます。さかのぼること1995年に発足しました。基本姿勢として「現退一致の原則」に基づき「連合豊能」と連携し、活動を行い、取り組みを行っています。地区構成は、大阪府域2市2町（池田市・箕面市・豊能町・能勢町）の17の労働組合・退職者会による構成です。

2. 活動と取り組み状況

毎年11月の第4土曜日に労働組合・退職者会の役員50名が結集し定期総会を開催してい

ます。年6回奇数月には幹事会を開催し、役員15名・相談役2名・顧問4名・参与4名・連合豊能役員3名・その他数名の延べ30名弱の結集で開催しています。幹事会は、第1部として研修会を開催し、第2部は取り組み報告・課題について話し合っています。また、親睦・交流会として「暑気払いの会」や「親睦・交流を深めるボタン鍋を食する会」を行っています。その上、年2回を基準に連合豊能退職者会情報紙（350部）の発行も行っています。

23

大阪退職者連合吹摂退職者会



吹摂退職者会は、1999年11月に準備会を結成し、2000年1月28日に連合吹摂地区協議会OBG会として総勢67名で結成総会を開催しました。その後名称を変更して現在に至っています。私達は、少子高齢化が進むなか、現

役・退職者ともに連携し「健康で生きがいのある、明るい高齢社会」を実現するため、大阪退職者連合の運動方針を基本とし引き続き諸活動を推進し、会員相互の交流と親睦を図り組織拡大に取り組んでいきます。

24

東大阪市退職者会



東大阪市退職者会は、2002年8月25日に連合大阪高齢・退職者の会・東大阪地区協議会として結成されました。運動の基本は、上部組織の活動に準拠し、又地域の独自性を加味した取り組みを、連合大阪東大阪地区協議会・河内地域労働者福祉協議会と連帯し、現退一致の活動をしています。

2016年8月31日定期総会にて、連合大阪高齢・退職者の会・東大阪地区協議会から大阪退職者連合・東大阪退職者会に改称されました。現在加入単会は11単会、会員は879名です。東大阪退職者会の役員は、会長1、副会長9、事務局長1、事務局次長1、会計1、幹事4、会計監査



2、顧問1、相談役1としています。また年間の行事は、定期総会、幹事会7～8回、学習会、見学会、歩こう会2回、忘年会、新年互礼会、東大阪地区メーデー、みかん狩りなどを実施しています。

25

連合大阪大阪市地域役員OB会



大阪退職者連合の結成 30 周年にお喜びを申し上げます。連合大阪大阪市地域役員OB会は、2009 年 10 月に結成された大阪市地域労福協

役員 OB 会が、2013 年 4 月に改組、結成され、本年 4 月で結成 10 年となります。会員は、大阪市地域協議会役員経験者を対象に会員拡大に取り組んだ結果、現役役員 (54 名) を含む会員数は、2022 年 4 月時点で 279 名となっています。また、地区協議会役員OB会の会長・事務局長についても、地域役員OB会員として登録するなど連携を進めています。

活動については、連合大阪大阪市地域協議会と大阪市地域労働者福祉協議会の各種取り組みに協力・参加するとともに、大阪市への政策・制度予算要請についても、積極的に意見反映を行っています。



大阪退職者連合 構成組織一覽

退職者会名	郵便番号	住 所	電 話	代表者	事務局長
IKI・IKI ライフクラブ大阪府支部	533-0033	大阪市東淀川区東中島 4-2-27	06-6323-1215	北野昌作	赤瀬 史
全日本自治体退職者会大阪府本部	530-0041	大阪市北区天神橋 3-9-27 PLP 会館 2 階	06-6242-2233	島村啓二	坂本眞一
JAM 大阪高齢・退職者の会	550-0001	大阪市西区土佐堀 1-6-3 JAM 西日本会館	06-6448-6921	清水謙一	狩谷道生
電機連合大阪地協 退職者連合	571-0050	門真市門真 1006	06-6907-0373	信田昭也	狼谷將之
ダイハツ阜月会	563-0045	池田市桃園 1-2-13	072-752-8085	東部房男	佐藤賞司
NTT 労組退職者の会大阪支部協議会	553-0003	大阪市福島区福島 3-1-73	06-6451-8100	山田健一	岡田ゆきゑ
私鉄関西地連高齢者・退職者の会 連絡協議会	543-0053	大阪市天王寺区北河堀町 3-19	06-6770-3300	坂野弘志	岸本康宏
大阪府電力総連 関電労組退職者会	550-0025	大阪市西区九条南 1-9-17	06-7506-9215	中森朝明	小林秀豪
大阪府退職教職員連絡協議会	543-0021	大阪市天王寺区東高津町 7-11 大阪府教育会館 4F412 号	06-6762-7999	林 誠子	藤田 修
大阪府退職女性教職員の会	543-0021	大阪市天王寺区東高津町 7-11 大阪府教育会館 4F412 号	06-6765-1558	横川万寿美	橋本佳代子
JR 連合大阪府協議会退職者連絡会	543-0055	大阪市天王寺区悲田院町 10-67	06-6773-3192	青谷重利	森本 治
JP 労組大阪連絡協議会退職者の会	530-8797	大阪市中央区北浜東 3-9 日本郵政グループ大阪ビル内	06-6941-0264	安達哲雄	石高三夫
基幹労連大阪府本部退職者の会	559-8559	大阪市住之江区南港北 1-7-89 日立造船労組内	070-2313-3649	木下豊和	澤谷誓之
運輸労連大阪府連合会退職者の会	550-0001	大阪市西区土佐堀 1-6-3 JAM 西日本会館 5F	06-6443-6446	中 保昌	山本治則
交通労連関西地方総支部 OB 友愛会	550-0001	大阪市西区土佐堀 1-6-3 JAM 西日本会館 4F	06-6448-0212	佐川光明	水畑正雄
印刷労連関西地本退職者の会	540-0012	大阪市中央区谷町 1-4-2 大阪オルガンビル 701	06-6946-5007	大東清人	中川 馨
日本たばこ大阪退職者の会	531-0075	大阪市北区大淀南 1-5-10 JT 大阪ビル 5F	06-6450-1330	田畑光夫	中村啓一
大阪市水道局退職者会	530-0043	大阪市北区与力町 4-8 末広センタービル 508 号	06-6354-4130	道野政徳	和田 滋
近畿労働金庫退職者会大阪支部	540-0033	大阪市中央区石町 2-5-3 南館 12 階 大阪労働者福祉財団気付	06-6766-4271	福間 清	鈴木博施
近畿中国林野関連退職者の会大阪支部	530-0042	大阪市北区天満橋 1-8-75	06-6881-2181	—	福井温信
大阪地域合同労組 OBOG 会	540-0008	大阪市中央区大手前 2-1-7	06-6949-1105	辻本慶子	—
連合大阪スタッフユニオン OBOG 会	540-0008	大阪市中央区大手前 2-1-7	06-6949-1105	石黒博俊	松井千穂
大阪退職者連合北摂地区協議会	569-0071	高槻市城北町 2-9-2-708	090-5156-0281	—	石橋常夫
大阪退職者連合豊能退職者会	563-0025	池田市城南 1-1-1	072-753-1333	久保豊茂	福原輝幸
大阪退職連合吹摂退職者会	566-0022	摂津市三島 1-1-1	06-6382-6933	小川義博	—
大阪退職者連合・東大阪退職者会	579-8058	東大阪市神田町 10-14 河内労協内	072-987-8787	徳野 稔	高畑和正
大阪市地域協議会役員 OB 会	540-0031	大阪市中央区北浜東 3-14 府立労働センター 4F	06-6966-1780	上田良則	坂本眞一

1992-2000 歴代役員一覧

役 職	出身組織（退職者会）	1992年3月	1992年12月	1993年
会 長	都市交（大阪市交通局退職者会）	花 房 信 夫	花 房 信 夫	花 房 信 夫
副会長	自治労（自治退大阪市職退職者会）	板 谷 一 夫	板 谷 一 夫	板 谷 一 夫
副会長	JAM（大金労 OB 同志会）	福 井 百 造	福 井 百 造	福 井 百 造
副会長	連合大阪	—	—	—
副会長	情報労連（NTT 労組退職者の会大阪支部）	—	—	—
副会長	造船重機（造船重機大阪 OB 会）	—	—	—
副会長	電機連合（松愛会、高齢・退職者の会）	田 村 清 行	藤 田 明 男	藤 田 明 男
事務局長	ゼンセン同盟（大阪府支部 OB 友の会）	田 中 時 雄	田 中 時 雄	田 中 時 雄
事務局次長	日教組（退職教職員連絡協議会）	市 川 正 昭	市 川 正 昭	市 川 正 昭
事務局次長	交通労連（交通労連関西 OB 友愛会）	本 田 精 一	本 田 精 一	本 田 精 一
事務局次長	連合大阪	阿 部 昇	阿 部 昇	阿 部 昇
幹 事	交通労連（交通労連関西 OB 友愛会）	富田三千夫	北 野 善 裕	丸 山 優
幹 事	私鉄総連（私鉄関西地連高退協）	朝 日 五 男	朝 日 五 男	朝 日 五 男
幹 事	電機連合（電機連合高齢・退職者の会）	—	—	—
幹 事	全通（全通大阪退職者組合）	西 川 忠	出 原 正 寛	出 原 正 寛
幹 事	電力総連（関西電力労働組合 OB 会）	高 橋 勇	高 橋 勇	高 橋 勇
幹 事	自治労（自治退学給労退職者会）	—	高野ふくゑ	高野ふくゑ
幹 事	日教組（退職婦人教職員連絡会）	—	村 上 シ ズ	村 上 シ ズ
幹 事	森林労連（国有林退職者の会）	弘 中 保 之	山 崎 昌 利	山 崎 昌 利
幹 事	連合大阪	浦 弘	浦 弘	浦 弘
幹 事	連合大阪	森 安 弘 之	森 安 弘 之	森 安 弘 之
幹 事	JAM（金属機械大阪 OB 会）	川 口 仲 男	川 口 仲 男	川 口 仲 男
幹 事	自治労（自治退大阪市職退職者会）	—	—	鈴木美雅
幹 事	鉄鋼労連（鉄鋼労連役員 OB 会）	戸 田 啓 義	木 下 豊 和	木 下 豊 和
幹 事	自動車総連（ダイハツ車月会）	吉 田 正 治	吉 田 正 治	吉 田 正 治
幹 事	都市交（大阪市交通局退職者会）	—	—	中 嶋 義 和
幹 事	都市交（大阪市交通局退職者会）	—	—	—
幹 事	運輸労連（全日通労組大阪支部）	—	—	—
幹 事	全水道（大阪市水道局退職者会）	金 山 治	金 山 治	金 山 治
幹 事	JAM（大金労 OB 同志会）	相 沢 良 雄	相 沢 良 雄	相 沢 良 雄
幹 事	自治労（自治退大阪市 RR 厚生会）	小 西 利 男	小 西 利 男	小 西 利 男
幹 事	全郵政（郵政ユニオンクラブ退職者会）	山 本 芳 雄	山 本 芳 雄	山 本 芳 雄
幹 事	CSG 連合（全化同盟 OB 会）	白 井 勝	森 戸 要	森 戸 要
幹 事	自治労（自治退自治労府職退職者会）	小 野 光 明	小 野 光 明	小 野 光 明
幹 事	化学リーグ 21（大阪地区高齢者協議会）	安 田 廣 勝	安 田 廣 勝	安 田 廣 勝
幹 事	CSG 連合（一般同盟 OB 会）	山之内昭夫	山之内昭夫	山之内昭夫
幹 事	NHK 労連（NHK 退職者協議会）	—	—	竹 森 良 三
幹 事	ゼンセン同盟（大阪府支部 OB 友の会）	田 福 正 隆	田 福 正 隆	蒲 地 弘
幹 事	情報労連（NTT 労組退職者の会大阪支部）	大 庵 芳 運	大 庵 芳 運	大 庵 芳 運
幹 事	地方ユニオン（大阪地域労 OB OG 会）	—	—	—
幹 事	造船重機（造船重機大阪 OB 会）	森 信 一	森 信 一	藤 井 久 米 雄
オブ幹事	連合吹摂 OB・OG 会	—	—	—
オブ幹事	連合豊能 OB OG 会	—	—	—
オブ幹事	連合高槻 OB・OG 会	—	—	—
会計監査	造船重機（造船重機大阪 OB 会）	—	—	—
会計監査	大阪海員 OB 会	花 崎 治 男	—	—
会計監査	鉄労大阪 OB 会	—	安 東 国 夫	安 東 国 夫
会計監査	食品連合（日本たばこ大阪退職者会）	西 原 賢	西 原 賢	西 原 賢
顧 問	連合大阪（元会長）	石 原 利 昭	石 原 利 昭	石 原 利 昭
顧 問	連合大阪（元会長）	—	—	柴 田 範 幸
顧 問	連合大阪（前会長）	—	—	—
顧 問	連合大阪（会長）	—	—	—
顧 問	大阪同盟 OB 友愛会	杉 下 雄 三	杉 下 雄 三	杉 下 雄 三

1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年
花 房 信 夫	花 房 信 夫	花 房 信 夫	花 房 信 夫	花 房 信 夫	花 房 信 夫	花 房 信 夫
板 谷 一 夫	板 谷 一 夫	板 谷 一 夫	板 谷 一 夫	板 谷 一 夫	板 谷 一 夫	板 谷 一 夫
福 井 百 造	福 井 百 造	福 井 百 造	福 井 百 造	相 沢 良 雄	相 沢 良 雄	榎 正 司
—	—	—	—	浦 弘	浦 弘	浦 弘
—	—	大 庵 芳 運	大 庵 芳 運	大 庵 芳 運	大 庵 芳 運	大 庵 芳 運
—	—	藤 井 久 米 雄	藤 井 久 米 雄	藤 井 久 米 雄	藤 井 久 米 雄	藤 井 久 米 雄
藤 田 明 男	藤 田 明 男	藤 田 明 男	藤 田 明 男	藤 田 明 男	藤 田 明 男	藤 田 明 男
田 中 時 雄	田 中 時 雄	田 中 時 雄	田 中 時 雄	田 中 時 雄	田 中 時 雄	田 中 時 雄
市 川 正 昭	市 川 正 昭	市 川 正 昭	小 橋 今	小 橋 今	小 橋 今	小 橋 今
本 田 精 一	本 田 精 一	本 田 精 一	本 田 精 一	本 田 精 一	本 田 精 一	本 田 精 一
阿 部 昇	阿 部 昇	衛 藤 社 司	浦 弘	森 安 弘 之	森 安 弘 之	森 安 弘 之
丸 山 優	丸 山 優	赤 尾 敬 勇	赤 尾 敬 勇	赤 尾 敬 勇	赤 尾 敬 勇	赤 尾 敬 勇
朝 日 五 男	朝 日 五 男	朝 日 五 男	朝 日 五 男	朝 日 五 男	朝 日 五 男	朝 日 五 男
—	—	—	櫛 原 正 照	櫛 原 正 照	櫛 原 正 照	櫛 原 正 照
出 原 正 寛	出 原 正 寛	出 原 正 寛	出 原 正 寛	出 原 正 寛	出 原 正 寛	出 原 正 寛
高 橋 勇	高 橋 勇	大 野 晴 玉	大 野 晴 玉	大 野 晴 玉	大 野 晴 玉	大 野 晴 玉
高野ふくゑ	高野ふくゑ	高野ふくゑ	高野ふくゑ	高野ふくゑ	高野ふくゑ	岡 本 豊 子
村 上 シ ズ	村 上 シ ズ	村 上 シ ズ	村 上 シ ズ	鎌 田 和 子	鎌 田 和 子	鎌 田 和 子
山 崎 昌 利	小 林 勇	小 林 勇	小 林 勇	小 林 勇	小 林 勇	小 林 勇
浦 弘	浦 弘	蛭 川 敬 稔	田 中 友 祥	松 井 一 博	松 井 一 博	坂 本 博 信
森 安 弘 之	森 安 弘 之	森 安 弘 之	森 安 弘 之	—	—	—
川 口 仲 男	川 口 仲 男	巢 張 秀 夫	巢 張 秀 夫	城 島 英 明	城 島 英 明	城 島 英 明
鈴木美雅	鈴木美雅	鈴木美雅	鈴木美雅	鈴木美雅	鈴木美雅	鈴木美雅
殿 村 元 一	殿 村 元 一	殿 村 元 一	殿 村 元 一	殿 村 元 一	殿 村 元 一	殿 村 元 一
吉 田 正 治	吉 田 正 治	虎 口 尚 史	虎 口 尚 史	虎 口 尚 史	虎 口 尚 史	虎 口 尚 史
中 嶋 義 和	中 嶋 義 和	中 嶋 義 和	中 嶋 義 和	中 嶋 義 和	中 嶋 義 和	中 嶋 義 和
—	—	—	—	—	—	安 藤 孝
—	—	中 西 淳 一	中 西 淳 一	中 西 淳 一	中 西 淳 一	中 西 淳 一
金 山 治	金 山 治	西 川 三 雄	西 川 三 雄	西 川 三 雄	西 川 三 雄	西 川 三 雄
相 沢 良 雄	相 沢 良 雄	羽 根 圭 三	羽 根 圭 三	羽 根 圭 三	羽 根 圭 三	羽 根 圭 三
小 西 利 男	小 西 利 男	小 西 利 男	小 西 利 男	藤 原 岩 男	藤 原 岩 男	藤 原 岩 男
福田作男	福田作男	福田作男	福田作男	福田作男	福田作男	福田作男
戸 田 省 吾	本 田 廣 市	本 田 廣 市	本 田 廣 市	本 田 廣 市	本 田 廣 市	本 田 廣 市
満 園 亨	満 園 亨	満 園 亨	満 園 亨	満 園 亨	満 園 亨	満 園 亨
安 田 廣 勝	安 田 廣 勝	安 田 廣 勝	安 田 廣 勝	安 田 廣 勝	安 田 廣 勝	安 田 廣 勝
山之内昭夫	山之内昭夫	山之内昭夫	山之内昭夫	山之内昭夫	山之内昭夫	山之内昭夫
竹 森 良 三	竹 森 良 三	井 内 啓 二	井 内 啓 二	山 越 淳	山 越 淳	山 越 淳
蒲 地 弘	蒲 地 弘	山 田 耕 助	山 田 耕 助	山 田 耕 助	山 田 耕 助	山 田 耕 助
大 庵 芳 運	大 庵 芳 運	田 宮 勇	田 宮 勇	鷺 谷 憲	鷺 谷 憲	鷺 谷 憲
—	—	—	—	吉 川 昇	吉 川 昇	辻 本 慶 子
藤 井 久 米 雄	藤 井 久 米 雄	—	—	—	—	—
—	—	—	—	小 川 義 博	小 川 義 博	小 川 義 博
—	川 西 登	川 西 登	川 西 登	川 西 登	川 西 登	川 西 登
—	西 坂 峯 一	西 坂 峯 一	西 坂 峯 一	西 坂 峯 一	西 坂 峯 一	西 坂 峯 一
—	—	紙 谷 栄 一	紙 谷 栄 一	紙 谷 栄 一	紙 谷 栄 一	紙 谷 栄 一
—	—	—	—	—	—	—
安 東 国 夫	安 東 国 夫	—	—	—	—	—
西 原 賢	西 原 賢	西 原 賢	西 原 賢	西 原 賢	西 原 賢	西 原 賢
石 原 利 昭	石 原 利 昭	石 原 利 昭	石 原 利 昭	石 原 利 昭	石 原 利 昭	石 原 利 昭
柴 田 範 幸	柴 田 範 幸	柴 田 範 幸	柴 田 範 幸	柴 田 範 幸	柴 田 範 幸	柴 田 範 幸
—	前 川 朋 久	前 川 朋 久	前 川 朋 久	前 川 朋 久	前 川 朋 久	前 川 朋 久
—	—	—	—	—	—	前 田 修
杉 下 雄 三	杉 下 雄 三	—	—	—	—	—

2001 - 2006 歴代役員一覧

役 職	出身組織（退職者会）	2001年	2002年
会 長	都市交（大阪市交通局退職者会）	花 房 信 夫	花 房 信 夫
会 長	交通労連（交通労連関西OB友愛会）	—	—
副会長	都市交（大阪市交通局退職者会）	—	—
副会長	JAM（JAM大阪シニアクラブ）	榎 正 司	榎 正 司
副会長	基幹労連（造船重機労連大阪OB会）	藤井久米雄	藤井久米雄
副会長	日教組（大阪府退職教職員連絡協議会）	小 橋 今	小 橋 今
副会長	連合大阪	坂 本 博 信	坂 本 博 信
副会長	電機連合（大阪地協高齢・退職者の会）	櫛 原 正 照	櫛 原 正 照
副会長	情報労連（NTT労組退職者の会大阪支部）	鷺 谷 憲	鷺 谷 憲
副会長	自治労（自治退大阪府職退職者会）	満 園 亨	満 園 亨
副会長	UIゼンセン同盟（大阪府支部OB友の会）	—	—
事務局長	交通労連（交通労連関西OB友愛会）	本 田 精 一	本 田 精 一
事務局長	自治労（自治退大阪府職退職者会）	—	—
事務局長	UIゼンセン同盟（大阪府支部OB友の会）	—	—
事務局長	連合大阪（スタッフユニオンOB・OG会）	森 安 弘 之	森 安 弘 之
事務局長	UIゼンセン同盟（大阪府支部OB友の会）	—	—
幹 事	都市交（大阪市交通局退職者会）	安 藤 孝	安 藤 孝
幹 事	電機連合（電機連合高齢・退職者の会）	新 保 市 弘	新 保 市 弘
幹 事	JP労組（大阪郵政退職者会）	出 原 正 寛	出 原 正 寛
幹 事	電力総連（関西電力労組高齢・退職者の会）	大 野 晴 玉	大 野 晴 玉
幹 事	自治労（自治退学給労退職者会）	岡 本 豊 子	岡 本 豊 子
幹 事	全水道（大阪市水道局退職者会）	西 川 三 雄	西 川 三 雄
幹 事	交通労連（交通労連関西OB友愛会）	赤 尾 敬 勇	赤 尾 敬 勇
幹 事	日教組（退職女性教職員連絡会）	鎌 田 和 子	大 寺 美 也 子
幹 事	連合大阪	蜷 川 敬 稔	蜷 川 敬 稔
幹 事	森林労連（大阪地方国有林退職者の会）	小 林 勇	小 林 勇
幹 事	情報労連（NTT労組退職者の会大阪支部）	小 林 保	小 林 保
幹 事	私鉄総連（地連高齢者退職者の会連絡協議会）	朝 日 五 男	朝 日 五 男
幹 事	自治労（池田市職員組合退職者会）	—	—
幹 事	自治労（豊中市職員組合退職者会）	有 馬 郁 雄	有 馬 郁 雄
幹 事	JEC連合（堺化学労組退職者協議会）	平 井 洋	平 井 洋
幹 事	地方ユニオン（大阪地域合労OB・OG会）	辻 本 慶 子	辻 本 慶 子
幹 事	自動車総連（ダイハツ車月会）	虎 口 尚 史	天 正 修
幹 事	運輸労連（全日通労組大阪支部OB会）	安 田 佳 徳	中 保 昌
幹 事	基幹労連（鉄鋼労連役員OB会）	殿 村 元 一	殿 村 元 一
幹 事	自治労（自治退大阪市RR厚生会）	藤 原 岩 男	藤 原 岩 男
幹 事	全郵政（郵政ユニオンクラブ退職者会）	福 田 作 男	福 田 作 男
幹 事	UIゼンセン同盟（大阪府支部OB友の会）	本 田 廣 市	本 田 廣 市
幹 事	UIゼンセン同盟（大阪府支部OB友の会）	山 田 耕 助	山 田 耕 助
幹 事	自治労（大阪市職退職者会）	壺 内 てる	壺 内 てる
幹 事	JAM（JAM大阪シニアクラブ）	善 家 村 誠	善 家 村 誠
幹 事	JAM（JAM大阪シニアクラブ）	城 島 英 明	城 島 英 明
オブ幹事	連合吹奏地協OB・OG会	—	—
オブ幹事	連合高槻連絡会OB・OG会	西 坂 峯 一	西 坂 峯 一
オブ幹事	連合高齢退職者の会東大阪地区協議会	樋 上 裕	樋 上 裕
オブ幹事	連合豊能OBG会	川 西 登	川 西 登
特別幹事	高退会元事務局長	田 中 時 雄	田 中 時 雄
会計監査	基幹労連（造船重機大阪OB会）	紙 谷 栄 一	紙 谷 栄 一
会計監査	フード連合（日本たばこ大阪退職者会）	西 原 賢	西 原 賢
会計監査	森林労連（大阪地方国有林退職者の会）	—	—
顧 問	連合大阪（元会長）	石 原 利 昭	石 原 利 昭
顧 問	連合大阪（元会長）	柴 田 範 幸	柴 田 範 幸
顧 問	連合大阪（元会長）	前 川 朋 久	前 川 朋 久
顧 問	連合大阪（元会長）	前 田 修	前 田 修
顧 問	連合大阪（元会長）	—	—
顧 問	高退会元会長	—	—
顧 問	高退会元会長	—	—

2003年	2004年	2005年	2006年
—	—	岡 副 常 雄	岡 副 常 雄
本 田 精 一	本 田 精 一	—	—
岡 副 常 雄	岡 副 常 雄	—	—
榎 正 司	榎 正 司	榎 正 司	榎 正 司
—	—	紙 谷 栄 一	紙 谷 栄 一
小 橋 今	小 橋 今	小 橋 今	小 橋 今
坂 本 博 信	坂 本 博 信	坂 貴 之	坂 貴 之
櫛 原 正 照	櫛 原 正 照	櫛 原 正 照	櫛 原 正 照
鷺 谷 憲	鷺 谷 憲	鷺 谷 憲	鷺 谷 憲
—	—	満 園 亨	満 園 亨
山 田 耕 助	山 田 耕 助	—	—
—	—	—	—
満 園 亨	満 園 亨	—	—
—	—	三ッ木宣武	三ッ木宣武
森 安 弘 之	森 安 弘 之	森 安 弘 之	森 安 弘 之
—	—	衛 藤 社 司	衛 藤 社 司
安 藤 孝	安 藤 孝	安 藤 孝	秋 田 実
新 保 市 弘	新 保 市 弘	新 保 市 弘	新 保 市 弘
出 原 正 寛	出 原 正 寛	出 原 正 寛	出 原 正 寛
田 太 博	田 太 博	田 太 博	白 口 忠 司
岡 本 豊 子	岡 本 豊 子	岡 本 豊 子	岡 本 豊 子
西 川 三 雄	西 川 三 雄	西 川 三 雄	奥 田 和 男
赤 尾 敬 勇	北 野 洋 治	北 野 洋 治	北 野 洋 治
大 寺 美 也 子	大 寺 美 也 子	大 寺 美 也 子	大 寺 美 也 子
坂 貴 之	坂 貴 之	久 保 真 光	久 保 真 光
小 林 勇	小 林 勇	—	—
小 林 保	小 林 保	小 林 保	小 林 保
朝 日 五 男	朝 日 五 男	朝 日 五 男	朝 日 五 男
新 崎 頼 治	新 崎 頼 治	新 崎 頼 治	新 崎 頼 治
—	—	—	—
辻 本 慶 子	辻 本 慶 子	辻 本 慶 子	辻 本 慶 子
天 正 修	天 正 修	天 正 修	天 正 修
中 保 昌	中 保 昌	中 保 昌	中 保 昌
殿 村 元 一	白 岩 千 司	白 岩 千 司	西 田 幸 生
藤 原 岩 男	藤 原 岩 男	林 勝 史	林 勝 史
福 田 作 男	福 田 作 男	福 田 作 男	福 田 作 男
本 田 廣 市	本 田 廣 市	本 田 廣 市	本 田 廣 市
—	—	—	—
三 島 一 郎	三 島 一 郎	三 島 一 郎	三 島 一 郎
善 家 村 誠	善 家 村 誠	善 家 村 誠	越 智 洋 二
米 田 治	米 田 治	米 田 治	米 田 治
小 川 義 博	岩 田 勝	岩 田 勝	岩 田 勝
西 坂 峯 一	大 田 修	大 田 修	大 田 修
樋 上 裕	樋 上 裕	樋 上 裕	樋 上 裕
川 西 登	川 西 登	川 西 登	川 西 登
田 中 時 雄	田 中 時 雄	—	—
紙 谷 栄 一	紙 谷 栄 一	—	—
西 原 賢	西 原 賢	西 原 賢	西 原 賢
—	—	小 林 勇	小 林 勇
石 原 利 昭	石 原 利 昭	石 原 利 昭	石 原 利 昭
柴 田 範 幸	柴 田 範 幸	柴 田 範 幸	柴 田 範 幸
前 川 朋 久	前 川 朋 久	前 川 朋 久	前 川 朋 久
前 田 修	前 田 修	前 田 修	前 田 修
伊 東 文 生	伊 東 文 生	伊 東 文 生	伊 東 文 生
花 房 信 夫	花 房 信 夫	花 房 信 夫	花 房 信 夫
—	—	本 田 精 一	本 田 精 一

2007-2012 歴代役員一覧

役 職	出身組織（退職者会）	2007年	2008年
会 長	UIゼンセン同盟（UIゼンセンシニア友の会大阪府支部）	三ッ木宣武	三ッ木宣武
副会長	都市交（大阪市交通局退職者会）	森 脇 征 男	森 脇 征 男
副会長	JAM（JAM大阪シニアクラブ）	米 田 治	米 田 治
副会長	日教組（大阪府退職教職員連絡会）	八 島 雅 夫	八 島 雅 夫
副会長	連合大阪	山 本 修	山 本 修
副会長	電機連合（大阪地協高齢・退職者の会）	新 保 市 弘	新 保 市 弘
副会長	情報労連（NTT労組退職者の会大阪支部協議会）	鷺 谷 憲	鷺 谷 憲
副会長	日教組（大阪退職女性教職員連絡協議会）	—	—
副会長	基幹労連（基幹労連大阪府本部OB会）	—	—
事務局次長	自治労（自治退大阪市職員退職者会）	有 元 章 博	有 元 章 博
事務局次長	連合大阪（スタッフユニオンOB・OG会）	森 安 弘 之	森 安 弘 之
事務局次長	UIゼンセン同盟（UIゼンセンシニア友の会大阪府支部）	衛 藤 社 司	衛 藤 社 司
事務局次長	自治労（自治退大阪市職員退職者会）	—	—
幹 事	都市交（大阪市交通局退職者会）	秋 田 実	秋 田 実
幹 事	都市交（大阪市交通局退職者会）	—	—
幹 事	電力総連（関西電力労組高齢・退職者の会）	白 口 忠 司	白 口 忠 司
幹 事	JP労組（大阪郵政退職者会）	山 崎 豊 春	山 崎 豊 春
幹 事	基幹労連（基幹労連大阪府本部OB会）	原 田 紀 昭	原 田 紀 昭
幹 事	JR連合（西労組大阪地方本部退職者協議会）	大 垣 勇 三	大 垣 勇 三
幹 事	自治労（大阪市学校給食調理員組合退職者会）	岡 本 豊 子	岡 本 豊 子
幹 事	全水道（大阪市水道局退職者会）	藤 本 俊 彦	藤 本 俊 彦
幹 事	自治労（自治退大阪市職員退職者会）	三 島 一 郎	三 島 一 郎
幹 事	日教組（大阪退職女性教職員連絡協議会）	北 村 洋 美	北 村 洋 美
幹 事	連合大阪	椎 原 俊 郎	椎 原 俊 郎
幹 事	情報労連（NTT労組退職者の会大阪支部協議会）	小 林 保	森川伊津美
幹 事	情報労連（NTT労組退職者の会大阪支部協議会）	—	—
幹 事	私鉄総連（関西地連高齢者退職者の会連絡協議会）	坂 野 弘 志	坂 野 弘 志
幹 事	自治労（池田市職員組合退職者会）	新 崎 頼 治	新 崎 頼 治
幹 事	フード連合（日本たばこ大阪退職者会）	竹 下 光 輝	竹 下 光 輝
幹 事	自治労（大阪府職退職者会）	満 園 亨	満 園 亨
幹 事	自動車総連（ダイハツ車月会）	天 正 修	天 正 修
幹 事	運輸労連（全日通労組大阪支部OB会）	中 保 昌	中 保 昌
幹 事	地方ユニオン（大阪地域合同労組OB・OG会）	辻 本 慶 子	辻 本 慶 子
幹 事	自治労（大阪市RR厚生会）	石 原 春 雄	石 原 春 雄
幹 事	全郵政（郵政ユニオンクラブ退職者会）	福 田 作 男	福 田 作 男
幹 事	UIゼンセン同盟（UIゼンセンシニア友の会大阪府支部）	本 田 廣 市	本 田 廣 市
幹 事	UIゼンセン同盟（UIゼンセンシニア友の会大阪府支部）	—	—
幹 事	電機連合（大阪地協高齢・退職者の会）	—	—
幹 事	印刷労連（関西地協退職者の会）	中 川 馨	中 川 馨
幹 事	JAM（JAM大阪シニアクラブ）	越 智 洋 二	越 智 洋 二
幹 事	JAM（JAM大阪シニアクラブ）	田 井 中 藤 男	田 井 中 藤 男
幹 事	連合大阪（スタッフユニオンOB・OG会）	—	—
オブ幹事	連合吹振地協OB・OG会	岩 田 勝	岩 田 勝
オブ幹事	連合高槻連絡会OB・OG会	大 田 修	大 田 修
オブ幹事	連合高齢退職者の会東大阪地区協議会	加 戸 幸 男	加 戸 幸 男
オブ幹事	連合豊能OBG会	川 西 登	川 西 登
会計監査	交通労連（交通労連関西OB友愛会）	北 野 洋 治	北 野 洋 治
会計監査	森林労連（近畿中国地方林野関連退職者の会大阪支部）	小 林 勇	小 林 勇
顧 問	連合大阪（元会長）	石 原 利 昭	石 原 利 昭
顧 問	連合大阪（元会長）	柴 田 範 幸	柴 田 範 幸
顧 問	連合大阪（元会長）	前 川 朋 久	前 川 朋 久
顧 問	連合大阪（元会長）	伊 東 文 生	伊 東 文 生
顧 問	連合大阪（会長）	川 口 清 一	川 口 清 一
顧 問	高退会元会長	花 房 信 夫	花 房 信 夫
顧 問	高退会元会長	本 田 精 一	本 田 精 一
顧 問	高退会元会長	岡 副 常 雄	岡 副 常 雄

2009年	2010年	2011年	2012年
三ッ木宣武	三ッ木宣武	三ッ木宣武	三ッ木宣武
山口和郎	山口和郎	山口和郎	山口和郎
米 田 治	米 田 治	米 田 治	米 田 治
八 島 雅 夫	八 島 雅 夫	八 島 雅 夫	八 島 雅 夫
坂 貴 之	坂 貴 之	田 中 宏 和	田 中 宏 和
新 保 市 弘	新 保 市 弘	新 保 市 弘	新 保 市 弘
鷺 谷 憲	鷺 谷 憲	鷺 谷 憲	鷺 谷 憲
大寺美也子	大寺美也子	大寺美也子	大寺美也子
原田紀昭	原田紀昭	原田紀昭	原田紀昭
有 元 章 博	有 元 章 博	有 元 章 博	有 元 章 博
森 安 弘 之	森 安 弘 之	—	—
衛 藤 社 司	衛 藤 社 司	衛 藤 社 司	衛 藤 社 司
—	—	坂 本 眞 一	坂 本 眞 一
秋 田 実	乾 清 純	乾 清 純	乾 清 純
—	—	山口百合子	山口百合子
白 口 忠 司	白 口 忠 司	白 口 忠 司	白 口 忠 司
山 崎 豊 春	山 崎 豊 春	建 井 義 則	建 井 義 則
林 晃	林 晃	林 晃	林 晃
大 垣 勇 三	大 垣 勇 三	大 垣 勇 三	大 垣 勇 三
岡 本 豊 子	岡 本 豊 子	岡 本 豊 子	岡 本 豊 子
藤 本 俊 彦	藤 本 俊 彦	藤 本 俊 彦	藤 本 俊 彦
有 元 幹 明	有 元 幹 明	有 元 幹 明	有 元 幹 明
北 村 洋 美	北 村 洋 美	隅 田 依 子	隅 田 依 子
香 川 功	香 川 功	香 川 功	橋 本 啓
森川伊津美	森川伊津美	森川伊津美	森川伊津美
—	—	田 伏 ノ ブ 子	田 伏 ノ ブ 子
坂 野 弘 志	坂 野 弘 志	坂 野 弘 志	坂 野 弘 志
新 崎 頼 治	新 崎 頼 治	新 崎 頼 治	新 崎 頼 治
竹 下 光 輝	竹 下 光 輝	竹 下 光 輝	竹 下 光 輝
満 園 亨	満 園 亨	満 園 亨	満 園 亨
天 正 修	天 正 修	石 川 紀 正	石 川 紀 正
山 本 治 則	山 本 治 則	山 本 治 則	山 本 治 則
辻 本 慶 子	辻 本 慶 子	辻 本 慶 子	辻 本 慶 子
石 原 春 雄	石 原 春 雄	石 原 春 雄	石 原 春 雄
福 田 作 男	福 田 作 男	福 田 作 男	福 田 作 男
本 田 廣 市	本 田 廣 市	林 司	林 司
—	—	西 浦 ま つ 子	西 浦 ま つ 子
—	—	信 田 昭 也	信 田 昭 也
中 川 馨	中 川 馨	中 川 馨	中 川 馨
越 智 洋 二	越 智 洋 二	越 智 洋 二	越 智 洋 二
田 井 中 藤 男	田 井 中 藤 男	田 井 中 藤 男	田 井 中 藤 男
—	—	森 安 弘 之	森 安 弘 之
岩 田 勝	岩 田 勝	岩 田 勝	岩 田 勝
大 田 修	大 田 修	大 田 修	大 田 修
加 戸 幸 男	加 戸 幸 男	加 戸 幸 男	加 戸 幸 男
川 西 登	川 西 登	川 西 登	川 西 登
北 野 洋 治	北 野 洋 治	北 野 洋 治	北 野 洋 治
小 林 勇	小 林 勇	小 林 勇	小 林 勇
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
川 口 清 一	川 口 清 一	川 口 清 一	川 口 清 一
花 房 信 夫	花 房 信 夫	花 房 信 夫	花 房 信 夫
本 田 精 一	本 田 精 一	本 田 精 一	本 田 精 一
岡 副 常 雄	岡 副 常 雄	岡 副 常 雄	岡 副 常 雄

2013-2017 歴代役員一覧

役 職	出身組織（退職者会）	2013年
会 長	UAゼンセン（UAゼンセンシニア友の会大阪府支部）	三ッ木宣武
会 長	自治労（自治退大阪市退職者会）	—
副会長	日教組（大阪府退職女性教職員の会）	大寺美也子
副会長	自治労（大阪市交通局退職者会）	小 塩 新 一
副会長	電機連合（大阪地協高齢・退職者の会）	新 保 市 弘
副会長	連合大阪	田 中 宏 和
副会長	情報労連（NTT労組退職者の会大阪支部協議会）	中 井 秀 禮
副会長	基幹労連（造船重機労連大阪OB会）	原 田 紀 昭
副会長	UAゼンセン（UAゼンセンシニア友の会大阪府支部）	—
副会長	日教組（大阪府退職教職員連絡会）	八 島 雅 夫
副会長	JAM（JAM大阪シニアクラブ）	米 田 治
事務局長	自治労（自治退大阪市退職者会）	有 元 章 博
事務局長	基幹労連（基幹労連大阪府本部OB会）	—
事務局次長	UAゼンセン（UAゼンセンシニア友の会大阪府支部）	衛 藤 社 司
事務局次長	自治労（大阪市職員退職者会）	坂 本 眞 一
幹 事	全労金（近畿労金退職者会大阪支部）	—
幹 事	自治労（自治退大阪府職退職者会）	植本眞砂子
幹 事	UAゼンセン（UAゼンセンシニア友の会大阪府支部）	—
幹 事	JR連合（JR西労組退職者協議会）	大 垣 勇 三
幹 事	JAM（JAM大阪シニアクラブ）	越 智 洋 二
幹 事	情報労連（NTT労組退職者の会大阪支部協議会）	田伏ノブ子
幹 事	自治労（大阪市学校給食調理員組合退職者会）	黒 瀬 順 子
幹 事	基幹労連（基幹労連大阪府本部OB会）	林 晃
幹 事	私鉄総連（関西地連高齢者退職者の会連絡協議会）	坂 野 弘 志
幹 事	自治労（大阪市交通局退職者会）	乾 清 純
幹 事	電機連合（大阪地協高齢・退職者の会）	信 田 昭 也
幹 事	自治労（東大阪市職員退職者会）	—
幹 事	自動車総連（ダイハツ月会）	石 川 紀 正
幹 事	連合大阪	竹 尾 稔
幹 事	日教組（大阪府退職女性教職員の会）	隅 田 依 子
幹 事	自治労（自治退大阪市RR厚生会）	芹原雄一郎
幹 事	JAM（JAM大阪シニアクラブ）	田井中藤男
幹 事	電力総連（関西電力労組高齢・退職者の会）	高 田 行 雄
幹 事	JP労組（全郵政ユニオンクラブ退職者会）	竹 内 康 男
幹 事	フード連合（日本たばこ大阪退職者会）	竹 下 光 輝
幹 事	JP労組（大阪郵政退職者会）	建 井 義 則
幹 事	地方ユニオン（大阪地域合労組OB・OG会）	辻 本 慶 子
幹 事	印刷労連（関西地協退職者の会）	中 川 馨
幹 事	UAゼンセン（UAゼンセンシニア友の会大阪府支部）	西浦まつ子
幹 事	自治労（自治退枚方市職員退職者会）	原 育 健 治
幹 事	UAゼンセン（UAゼンセンシニア友の会大阪府支部）	林 司
幹 事	情報労連（NTT労組退職者の会大阪支部協議会）	藤 直 数 隆
幹 事	全水道（大阪市水道局退職者会）	藤 本 俊 彦
幹 事	自治労（大阪市職員退職者会）	水 上 義 博
幹 事	連合大阪（スタッフユニオンOB・OG会）	森 安 弘 之
幹 事	自治労（大阪市交通局退職者会）	山口百合子
幹 事	運輸労連（大阪府連合会退職者の会）	山 本 治 則
地域幹事	連合吹振地協OB・OG会	原 正 己
地域幹事	連合高槻連絡会OB・OG会	大 田 修
地域幹事	連合高齢・退職者の会東大阪地区協議会	加 戸 幸 男
地域幹事	連合豊能地協OB・OG会	川 西 登
会計監査	交通労連（交通労連関西OB友愛会）	北 野 洋 治
会計監査	森林労連（近畿中国林野関連退職者の会大阪支部）	小 林 勇
顧 問	連合大阪（会長）	川 口 清 一
顧 問	高退会元会長	花 房 信 夫
顧 問	高退会元会長	本 田 精 一
顧 問	高退会元会長	岡 副 常 雄
顧 問	高退会元会長	—

2014年	2015年	2016年	2017年
—	—	—	—
有 元 章 博	有 元 章 博	有 元 章 博	有 元 章 博
大寺美也子	大寺美也子	大寺美也子	大寺美也子
小 塩 新 一	小 塩 新 一	小 塩 新 一	小 塩 新 一
信 田 昭 也	信 田 昭 也	信 田 昭 也	信 田 昭 也
山 本 修	山 本 修	藤 原 一 也	藤 原 一 也
中 井 秀 禮	中 井 秀 禮	中 井 秀 禮	中 井 秀 禮
—	—	—	—
平 岡 宣 次	平 岡 宣 次	平 岡 宣 次	平 岡 宣 次
八 島 雅 夫	八 島 雅 夫	八 島 雅 夫	八 島 雅 夫
米 田 治	米 田 治	米 田 治	森 本 寛
—	—	—	—
林 晃	林 晃	林 晃	林 晃
衛 藤 社 司	衛 藤 社 司	衛 藤 社 司	—
坂 本 眞 一	坂 本 眞 一	坂 本 眞 一	坂 本 眞 一
—	上 田 公 美	上 田 公 美	上 田 公 美
植本眞砂子	植本眞砂子	植本眞砂子	植本眞砂子
—	—	—	衛 藤 社 司
大 垣 勇 三	大 垣 勇 三	大 垣 勇 三	大 垣 勇 三
越 智 洋 二	越 智 洋 二	越 智 洋 二	越 智 洋 二
田伏ノブ子	金 高 清 江	金 高 清 江	金 高 清 江
黒 瀬 順 子	黒 瀬 順 子	黒 瀬 順 子	黒 瀬 順 子
—	小 林 勝	小 林 勝	小 林 勝
坂 野 弘 志	坂 野 弘 志	坂 野 弘 志	坂 野 弘 志
乾 清 純	下井関雄爾	下井関雄爾	下井関雄爾
新 保 市 弘	新 保 市 弘	新 保 市 弘	新 保 市 弘
—	杉 浦 敏 次	杉 浦 敏 次	杉 浦 敏 次
石 川 紀 正	中 島 健 二	光 本 幸 男	光 本 幸 男
川 崎 良 樹	—	竹 尾 稔	竹 尾 稔
隅 田 依 子	福 田 光 子	福 田 光 子	福 田 光 子
芹原雄一郎	芹原雄一郎	平 山 勝	平 山 勝
田井中藤男	田井中藤男	田井中藤男	田井中藤男
高 田 行 雄	高 田 行 雄	高 田 行 雄	高 田 行 雄
竹 内 康 男	—	—	—
竹 下 光 輝	竹 下 光 輝	竹 下 光 輝	—
建 井 義 則	建 井 義 則	建 井 義 則	建 井 義 則
辻 本 慶 子	辻 本 慶 子	辻 本 慶 子	辻 本 慶 子
中 川 馨	中 川 馨	中 川 馨	中 川 馨
西浦まつ子	西浦まつ子	西浦まつ子	西浦まつ子
原 育 健 治	—	—	—
林 司	林 司	林 司	林 司
藤 直 数 隆	藤 直 数 隆	藤 直 数 隆	藤 直 数 隆
藤 本 俊 彦	道 野 正 徳	道 野 正 徳	道 野 正 徳
水 上 義 博	水 上 義 博	水 上 義 博	水 上 義 博
森 安 弘 之	森 安 弘 之	森 安 弘 之	森 安 弘 之
山口百合子	山口百合子	山口百合子	山口百合子
山 本 治 則	山 本 治 則	山 本 治 則	山 本 治 則
原 正 己	原 正 己	原 正 己	原 正 己
大 田 修	大 田 修	大 田 修	大 田 修
徳 野 稔	徳 野 稔	徳 野 稔	徳 野 稔
川 西 登	青 木 修 一	福 原 輝 幸	福 原 輝 幸
北 野 洋 治	北 野 洋 治	北 野 洋 治	北 野 洋 治
福 井 温 信	福 井 温 信	福 井 温 信	福 井 温 信
山 崎 弦 一	山 崎 弦 一	山 崎 弦 一	山 崎 弦 一
花 房 信 夫	—	—	—
本 田 精 一	本 田 精 一	本 田 精 一	本 田 精 一
岡 副 常 雄	岡 副 常 雄	岡 副 常 雄	岡 副 常 雄
三ッ木宣武	三ッ木宣武	三ッ木宣武	三ッ木宣武

2018-2023 歴代役員一覧

役 職	出身組織（退職者会）	2018年	2019年
会 長	基幹労連（基幹労連大阪府本部退職者の会）	林 晃	林 晃
会 長	自治労（自治退大阪市職員退職者会）	—	—
副会長	JR連合（大阪府協議会退職者連絡会）	—	—
副会長	自治労（大阪交通退職者協議会）	小 塩 新 一	上 田 一 男
副会長	自治労（自治退大阪府職退職者会）	植本眞砂子	植本眞砂子
副会長	連合大阪	佐 伯 昭 子	佐 伯 昭 子
副会長	日教組（大阪府退職女性教職員の会）	大寺美也子	横川万寿美
副会長	電機連合（大阪地協・退職者連合）	信 田 昭 也	信 田 昭 也
副会長	情報労連（NTT労組退職者の会大阪支部協議会）	中 井 秀 禮	中 井 秀 禮
副会長	UAゼンセン（UAゼンセン友の会大阪府支部）	平 岡 宣 次	平 岡 宣 次
副会長	基幹労連（基幹労連大阪府本部退職者の会）	—	—
副会長	日教組（大阪府退職教職員連絡協議会）	八 島 雅 夫	富 森 和 男
副会長	JAM（JAM大阪シニアクラブ）	森 本 實	森 本 實
副会長	大阪退職者連合・東大阪退職者会	—	—
副会長	大阪市地域協議会役員OB会	—	—
事務局長	自治労（自治退大阪市職員退職者会）	徳 永 秀 昭	徳 永 秀 昭
事務局長	UAゼンセン（UAゼンセン友の会大阪府支部）	—	—
事務局次長	自治労（自治退大阪市職員退職者会）	坂 本 眞 一	坂 本 眞 一
事務局次長	UAゼンセン（UAゼンセン友の会大阪府支部）	—	—
事務局次長	自治労（自治退豊中市職員退職者会）	山 本 修	山 本 修
幹 事	JR連合（西労組大阪地本退職者協議会）	青 谷 重 利	青 谷 重 利
幹 事	JP労組（大阪連絡協議会退職者の会）	建 井 義 則	安 達 哲 雄
幹 事	情報労連（NTT労組退職者の会大阪支部協議会）	池 尻 貞 男	池 尻 貞 男
幹 事	UAゼンセン（UAゼンセン友の会大阪府支部）	上 田 良 則	上 田 良 則
幹 事	自治労（自治退大阪市従退職者会）	平 山 勝	上 谷 高 正
幹 事	情報労連（NTT労組退職者の会大阪支部協議会）	金 高 清 江	掛川つねみ
幹 事	JAM（JAM大阪シニアクラブ）	田井中藤男	狩 谷 道 生
幹 事	自治労（自治退大阪市学校給食調理員組合退職者会）	黒 瀬 順 子	黒 瀬 順 子
幹 事	基幹労連（基幹労連大阪府本部退職者の会）	小 林 勝	小 林 勝
幹 事	私鉄総連（関西地連高齢者・退職者の会連絡協議会）	坂 野 弘 志	坂 野 弘 志
幹 事	自治労（自治退豊中市退職者会）	島 村 啓 二	島 村 啓 二
幹 事	JAM（JAM大阪シニアクラブ）	越 智 洋 二	越 智 洋 二
幹 事	電機連合（大阪地協・退職者連合）	新 保 市 弘	新 保 市 弘
幹 事	自治労（自治退東大阪市職員退職者会）	杉 浦 敏 次	杉 浦 敏 次
幹 事	電力総連（関西電力総連高齢・退職者の会）	高 田 行 雄	高 田 行 雄
幹 事	連合大阪	島 本 麻 奈 美	島 本 麻 奈 美
幹 事	自動車総連（ダイハツ車月会）	光 本 幸 男	辻 雅 文
幹 事	地方ユニオン（大阪地域合労組OB・OG会）	辻 本 慶 子	辻 本 慶 子
幹 事	印刷労連（関西地協退職者の会）	中 川 馨	中 川 馨
幹 事	UAゼンセン（UAゼンセン友の会大阪府支部）	西 浦 ま つ 子	西 浦 ま つ 子
幹 事	日教組（大阪府退職女性教職員の会）	福 田 光 子	橋 本 佳 代 子
幹 事	近畿労金（近畿労金退職者会大阪支部）	福 間 清	福 間 清
幹 事	日教組（大阪府退職教職員連絡協議会）	—	—
幹 事	自治労（大阪交通退職者協議会）	山口百合子	山口百合子
幹 事	運輸労連（大阪府連合会退職者の会）	山 本 治 則	山 本 治 則
幹 事	連合大阪（スタッフユニオンOB会）	森 安 弘 之	森 安 弘 之
幹 事	自治労（大阪交通退職者協議会）	下 井 関 雄 爾	和 多 田 博
幹 事	全水道（大阪市水道局退職者会）	道 野 正 徳	和 田 滋
幹 事	大阪退職者連合・吹摂退職者会	原 正 己	原 正 己
幹 事	大阪退職者連合・北摂退職者連合	大 田 修	大 田 修
幹 事	大阪退職者連合・東大阪退職者会	徳 野 稔	徳 野 稔
幹 事	大阪退職者連合・豊能退職者会	福 原 輝 幸	福 原 輝 幸
幹 事	大阪市地域協議会役員OB会	—	—
会計監査	交通労連（交通労連関西OB友愛会）	北 野 洋 治	北 野 洋 治
幹 事	森林労連（近畿中国地方林野関連退職者の会大阪支部）	福井温信(会計監査)	福井温信(会計監査)
顧 問	連合大阪（会長）	山 崎 弦 一	山 崎 弦 一
顧 問	高退会元会長	岡 副 常 雄	岡 副 常 雄
顧 問	高退会元会長	三ッ木宣武	三ッ木宣武
顧 問	大阪退連元会長	有 元 章 博	有 元 章 博
顧 問	大阪退連元会長	—	—

2020年	2021年	2022 年	2023 年
林 晃	林 晃	—	—
—	—	徳 永 秀 昭	徳 永 秀 昭
青 谷 重 利	青 谷 重 利	青 谷 重 利	青 谷 重 利
上 田 一 男	中 村 義 男	中 村 義 男	中 村 義 男
植本眞砂子	植本眞砂子	植本眞砂子	植本眞砂子
香 川 功	香 川 功	牟 田 和 広	牟 田 和 広
横川万寿美	横川万寿美	横川万寿美	横川万寿美
信 田 昭 也	信 田 昭 也	信 田 昭 也	信 田 昭 也
中 井 秀 禮	中 井 秀 禮	山 田 健 一	山 田 健 一
平 岡 宣 次	平 岡 宣 次	—	—
—	—	木 下 豊 和	木 下 豊 和
富 森 和 男	富 森 和 男	林 誠 子	林 誠 子
森 本 實	清 水 謙 一	清 水 謙 一	清 水 謙 一
米 田 治	米 田 治	米 田 治	—
—	—	—	上 田 良 則
徳 永 秀 昭	徳 永 秀 昭	—	—
—	—	松 本 昌 三	松 本 昌 三
—	—	—	—
大 塚 義 彦	大 塚 義 彦	大 塚 義 彦	大 塚 義 彦
山 本 修	山 本 修	山 本 修	山 本 修
森 本 治	森 本 治	森 本 治	森 本 治
安 達 哲 雄	安 達 哲 雄	安 達 哲 雄	安 達 哲 雄
池 尻 貞 男	池 尻 貞 男	池 尻 貞 男	有 本 正 行
上 田 良 則	上 田 良 則	上 田 良 則	本 田 敏 一
上 谷 高 正	上 谷 高 正	上 谷 高 正	上 谷 高 正
掛川つねみ	掛川つねみ	掛川つねみ	岡 田 ゆ き 糸
狩 谷 道 生	狩 谷 道 生	狩 谷 道 生	狩 谷 道 生
黒 瀬 順 子	黒 瀬 順 子	黒 瀬 順 子	黒 瀬 順 子
小 林 勝	小 林 勝	高 岡 清 六	高 岡 清 六
坂 野 弘 志	坂 野 弘 志	坂 野 弘 志	坂 野 弘 志
島 村 啓 二	坂 本 眞 一	坂 本 眞 一	坂 本 眞 一
清 水 謙 一	原 正 己	原 正 己	原 正 己
新 保 市 弘	新 保 市 弘	清 武 正 則	清 武 正 則
杉 浦 敏 次	杉 浦 敏 次	杉 浦 敏 次	杉 浦 敏 次
高 田 行 雄	高 田 行 雄	弓 庭 秀 恭	弓 庭 秀 恭
竹 尾 稔	竹 尾 稔	明 知 友 紀	島 本 麻 奈 美
辻 雅 文	辻 雅 文	辻 雅 文	辻 雅 文
辻 本 慶 子	辻 本 慶 子	辻 本 慶 子	辻 本 慶 子
中 川 馨	中 川 馨	中 川 馨	中 川 馨
西 浦 ま つ 子	西 浦 ま つ 子	西 浦 ま つ 子	西 浦 ま つ 子
橋 本 佳 代 子	橋 本 佳 代 子	橋 本 佳 代 子	橋 本 佳 代 子
福 間 清	福 間 清	鈴 木 博 施	鈴 木 博 施
藤 田 修	藤 田 修	藤 田 修	藤 田 修
山口百合子	山口百合子	山口百合子	山口百合子
山 本 治 則	山 本 治 則	山 本 治 則	山 本 治 則
森 安 弘 之	森 安 弘 之	森 安 弘 之	石 黒 博 俊
和 多 田 博	和 多 田 博	和 多 田 博	和 多 田 博
和 田 滋	和 田 滋(会計監査)	和 田 滋(会計監査)	和 田 滋(会計監査)
原 正 己	原 正 己	小 川 義 博	小 川 義 博
大 田 修	飯 塚 健 二	飯 塚 健 二	飯 塚 健 二
徳 野 稔	徳 野 稔	徳 野 稔	徳 野 稔
福 原 輝 幸	福 原 輝 幸	福 原 輝 幸	福 原 輝 幸
須川伊和夫	須川伊和夫	須川伊和夫	須川伊和夫
水 畑 正 雄	水 畑 正 雄	水 畑 正 雄	水 畑 正 雄
福井温信(会計監査)	福 井 温 信	福 井 温 信	福 井 温 信
田 中 宏 和	田 中 宏 和	田 中 宏 和	田 中 宏 和
岡 副 常 雄	岡 副 常 雄	岡 副 常 雄	岡 副 常 雄
三ッ木宣武	三ッ木宣武	三ッ木宣武	三ッ木宣武
有 元 章 博	有 元 章 博	有 元 章 博	有 元 章 博
—	—	林 晃	林 晃

顧問からの挨拶





あいさつ

三ツ木 宣武

大阪退職者連合結成30周年、これから新たな出発です。私は岡副会長から厳命を受け3期会長職を役員の方のご協力で務め得ました。その間の特徴的活動を振り返り挨拶とさせていただきます。それは大阪自治の破壊・文化の破壊・労働団体への攻撃など、そして自らを独裁者と嘯くともない首長の出現に、連合現役と共にとして組織を挙げて坑いしましたが、それから、開発途上国の青少年たちへの支援活動です。北河内の組織の皆さんがカンボ

ジアへ小学校を贈りました。私たちは仲間のカンパで図書館「希望」を贈り、花を添えました。武漢ウイルスの蔓延とロシアのウクライナへの侵略で生活が負の方向に大きく変わりました。特に高齢者への影響は大です。改善の見通しはなく政治に私たちの声を届かせる活動で頑張りましょう。そのためには仲間を増やす必要です。退職した仲間への呼びかけが大切です。それには現役の皆さんの大いなる協力が必要で期待します。どうぞよろしく。



大阪退職者連合結成30周年に寄せて

顧問 有元 章博

大阪市職員退職者会長に就任した直後の2007年秋、大阪退職者連合（当時は「連合大阪高齢・退職者の会」）事務長に選出され、6年後に同会長に就任、2017年退任。その間、退職者連合近畿ブロック事務局長、会長を併任。その10年間、多くの方々にご支援・ご協力を頂いたことにあらためて深く感謝申し上げます。

そして、結成30周年を心から祝福いたします。大阪退職者連合は、全国の退職者組織の中で、組織力、運動内容（自治体政策提言・要請等）共に先頭に立っていると確信しています。このことを再確認した上で、いま求められている課題に対し、さらに先進的

役割を果たして頂きたいと願っています。

これからの運動について、（自分では十分取り組みなかった反省を込めながら）希望を述べるならば、日本退連が「次世代に継承すべき社会」でも述べている課題、超少子高齢社会における負担と給付の公平なあり方について高齢者自身が納得できるものとする、ジェンダー平等実現、平和憲法堅持・核廃絶、軍拡ではなく人道支援強化といった諸課題に加え、高齢者の健康問題（肉体的・精神的へ）についての政策要求や講演会などの取り組みを期待しています。



現役諸君！ 「真の現退一致」の活動を共に実践しよう！！

顧問 林 晃

大阪退職者連合の結成30周年を迎えられたこと、皆さん方と共に喜び合いたいと存じます。また先達のご苦勞とご活躍に心から敬意を表する次第でございます。

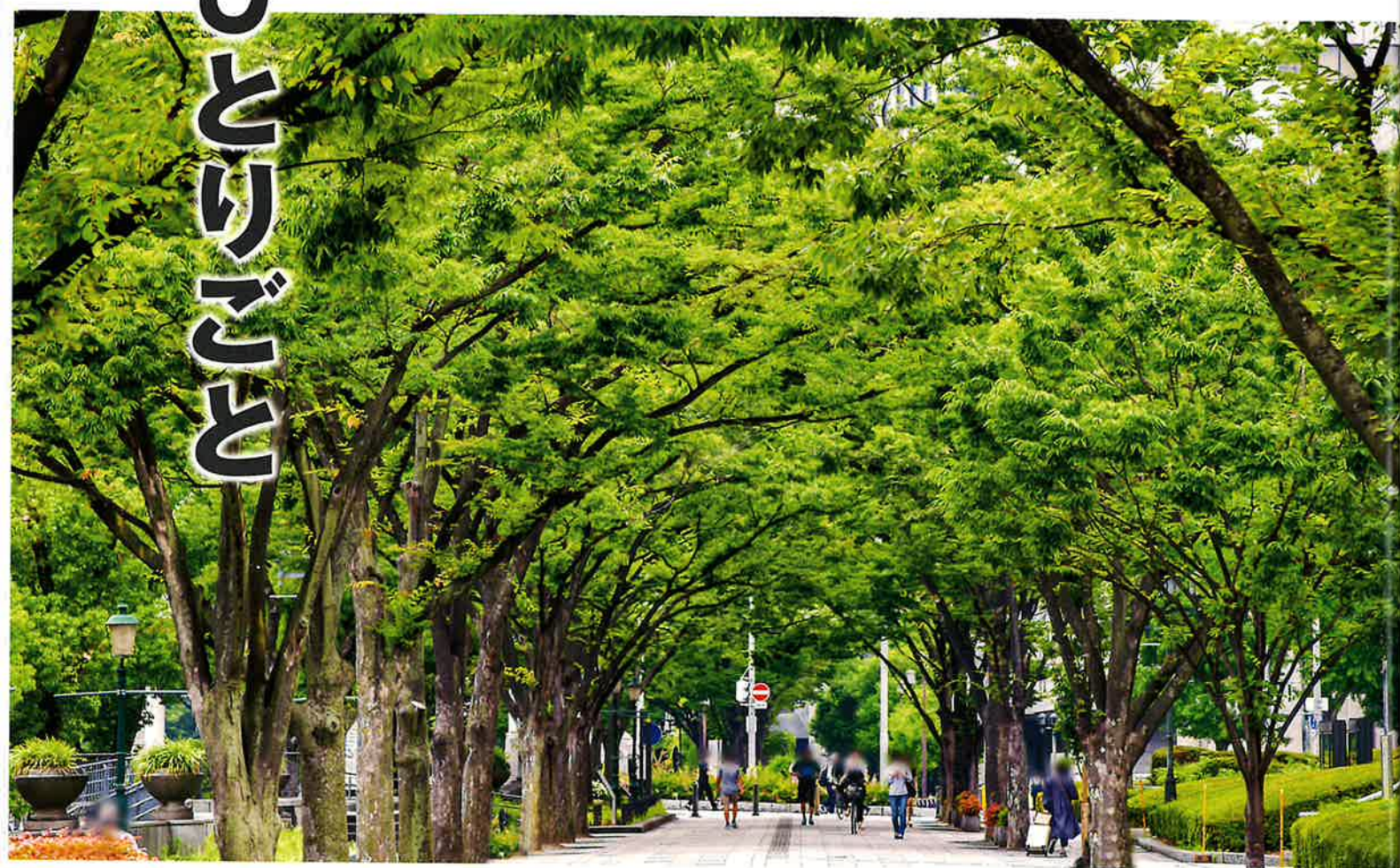
私は、2013年11月から2021年11月まで事務局長4年、会長4年勤めました。この間、主要な活動の社会保障問題の自治体への要請や各種選挙活動、そして地域組織の強化・拡大、さらには高齢者集会や近畿ブロックのハイキングなど有意義で楽しい活動を皆さん方と共にさせて頂きました。これらの活動を通じて、特に痛感したことは、地域・地区協議会活動の重要性や支持する自治体議員を増やすことの大切

さです。自治体要請や選挙で実効あらしめる為にもこれは不可欠な要素であります。しかし退職者連合だけでは為し得ません。連合と協力して「真の現退一致」の活動を実践すると共に、連合運動の諸活動や教育の中で、若い頃からその精神を醸成していくことが何より肝要だと思います。現役から退職者まで垣根を作らず、切れ目のない活動を実践されることを心から願うのであります。ひいては人生100年時代への対処や会員拡大に通じると確信します。

現役諸君！真の現退一致の活動を実践し共に頑張りましょう。



専従者のひとりごと





高齢退職者会の専従を経験して

衛藤 社司

私が高退会の専従事務局次長を森安さんから引き継いだ時期は、花房会長・田中事務局長コンビの結成以来10年間の活動で組織の基盤が出来ていました。私にとって高退会の事務局専従は、何でも相談センターの相談員の時代に次いで第三の労働運動でした。

三ツ木、有元、林、事務局長御三方の次長を務め、存分の活動をさせて頂きました。

まず記憶に残るのは、「大阪高齢者集会」を発足させたことです。集会名は大阪の高齢者が誰でも参加できるように連合を外しました。連合大阪がデモを止めるなら高退会でやろうとデモをセットにし、3年に一度の参議院選挙の決起集会を意識し、6月はじめに日程を設定しました。500人規模の集会・デモは、中央の退職者連合からも高い評価を受けて来ました。写真は、2015年の高齢者集会の一コマです。

定着していた隔年の海外視察旅行で、カンボジアを訪問し、連合大阪北大阪地協が贈設した小学校の教室を見学しました。教室の隅に図書を並べている状況を見て、図書館を贈ることを企画しました。各加盟組織に建設費用のカンパと図書の寄贈をお願い

いし、建設費用の100万円を大きく超えるカンパ金の協力を頂



きました。2年後には完成した図書館と図書の贈呈式に高退会役員が出席し、現地の子供たちと行政・教育関係者に大いに感謝されました。

東日本大震災では、連合が行った福島仮設住宅への支援活動に私が参加しました。高退会総会には福島県退職者会の事務局長を招請し、震災と原発事故の現状を報告して頂きました。被災三県の退職者会には三ツ木会長・有元事務局長がお見舞いに訪問しカンパ金をお届けしました。

大阪都構想反対運動では、第1回目の住民投票で「反対ハガキ」（代金は高退会負担）を送る運動を展開しました。僅差での勝利に貢献したと自負しております。以上思い付きを報告しました。



大阪退連事務局専従を経験して

坂本 眞一

私は、前任の江藤さんの後を受け、2015年～18年の3年間事務局を担当させていただきました。江藤さんは、「焼酎と仕事」を趣味とする大変エネルギッシュな方で大阪退連の活動を大きく変えた方です。事務局を受けた際、森安さん（江藤さんの前任）から「江藤さんは仕事に没頭する方だから、同じよう

にすると体がもたへんで」と助言を受けました。実際担当すると、さまざまな事業を以前より拡大されていきました。私はそれらの事業を継続、充実させることが主な任務と感じ、3年間そのことに没頭してきました。さまざま方の支えで仕事が出来ました。ありがとうございました。

大阪退職者連合 30周年記念誌 編集後記



1989年11月21日の連合結成以降、1990年5月に47都道府県の地方連合会結成そして、1991年11月に日本退職者連合が発足され、1992年に全国の地方連合で高齢者退職者会の結成がスタート致しました。

一段と進む少子高齢社会の中で、揺らぐ社会保障制度から安心できる社会保障を求める政策・制度要求や、現役と一体化した社会的取り組みや、全国そしてブロック・地域の情報交換や高齢者の健康増進・維持を進める取り組みを展開しているのが退職者連合の中心的な活動です。

大阪退職者連合は、1992年に結成され以降30年以上に渡り、連合大阪はもとより、連合に参画する各産業別労働団体や大阪府下の各地域組織、各自治体、支持政党、関係福祉団体などのご支援とご協力を賜り、今日まで活動を進めることが出来ました。

今般、2023年5月23日に結成30周年式典と記念レセプションそして30周年記念誌を発行することになり、諸先輩や関係各位に多大なるご協力を賜りながら作成することが出来ました。まだまだ多くの事柄を含めた内容にできれば、一層良いものが出来上がったと思いますが、過去の資料の保存状況や作成日数・人員・予算などの問題もあり、すべてを満たすものではありませんが、今後の結成40年、50年、100年に向けて活動の一助になればと存じております。

今日まで大阪退職者連合の諸活動に参加・参画頂きました多くの諸先輩や仲間の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも大阪退職者連合の様々な取り組みに対してご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

大阪退職者連合 事務局長 **松本 昌三**

発行予定 2023 年 5 月